

平成27年度 御嵩町教育センター教育実践論文入賞者一覧 (敬称略)

◆社会教育部門

【特別賞】

| | | |
|---------------------------------|---------------|---|
| 御嵩町 水 土 里 隊 武藤 哲生(水土里隊隊長) | 御嵩町有林整備ボランティア | ～水土里隊の紹介～ 御嵩町が行っている適正な森林施業や資源の有効活用など、森林保全活動に取り組み、合わせて地域の活性化に寄与されているボランティア団体です。 |
|---------------------------------|---------------|---|

◆教職員部門

【優秀賞】

| | | |
|---------|------|--|
| 籾 愛 里 | 上之郷小 | 《特別支援教育》 通常学級における気になる子への指導の在り方 ～関係機関との連携と支援を通して～ |
| 大 塚 由 美 | 御嵩小 | 《算数科》 数学的な思考力・表現力を育てる指導のあり方 習熟の程度に応じた指導方法の工夫改善 ～5年(チャレンジコース)の指導実践から～ |
| 土 屋 大 樹 | 御嵩小 | 《総合的な学習の時間》 道徳教育と関連をもたせた情報モラル教育の実践と提案 ～指導計画の立案と授業モデルの提案～ |
| 河 野 充 代 | 共和中 | 《理科》 科学的思考・表現ができる生徒の育成 ～誰もが納得する分かりやすい考察ができる生徒の姿を目指して～ |

【優良賞】

| | | |
|-----------|------|--|
| 都 竹 利 洋 | 伏見小 | 《家庭科》 よりよい生活を創り出す豊かな心と確かな実践力の育成 ～自分の生活を見直し、工夫・創造して「できる・活かす自分」の育成を図る指導～ |
| 林 拓 哉 | 上之郷中 | 《英語科》 身に付けた表現を使い、積極的にコミュニケーションに挑み続ける生徒を育てる指導の在り方 ～1年生での「話すこと」「聞くこと」を重点とした授業の実践から～ |
| 大 城 真 一 | 向陽中 | 《特別活動》 一人一人の成長を支える学級経営 ～個別支援計画と学級全体への指導計画を毎月立てることを通して～ |
| 家 田 裕 美 子 | 向陽中 | 《美術科》 発想構想の能力を高めるための観賞教育 |

【奨励賞】

| | | |
|-----------|-----|--|
| 山 本 清 美 | 御嵩小 | 《特別支援教育》 言語表現の向上を願って ～話す能力と文字表現力～ |
| 金 子 慎 一 | 御嵩小 | 《特別支援教育》 発達支援通級指導教室における「ペア学習」の効果 |
| 松 岡 愛 菜 | 御嵩小 | 《算数科》 中学につながる 学び合う学習集団づくりと学び方指導の在り方 ～6年生「円の面積」の実践を通して～ |
| 野 呂 大 樹 | 御嵩小 | 《社会科》 児童が意欲的に向かう社会科学習のあり方～ |
| 戸 倉 有 紀 | 御嵩小 | 《体育科》 運動嫌いから運動大好きに ベースボールの実践から考える一人一人が楽しいと思える体育科授業の在り方 |
| 石 橋 弘 匡 | 伏見小 | 《社会科》誰もが楽しく主体的に取り組む社会科授業 |
| 名 倉 さ お り | 伏見小 | 《社会科》 思考力・判断力・表現力を育む授業のあり方 ～地域教材を生かし、主体的に取り組む社会科授業～ |
| 高 木 美 希 | 伏見小 | 《国語科》 音読を中心とした国語科指導 |
| 中 山 雄 一 郎 | 向陽中 | 《数学科》 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る指導の在り方 ～生徒の実態把握から考える生徒が主体的に取り組める数学的な活動の工夫～ |
| 三 根 え り 沙 | 向陽中 | 《国語科》 伝え合う必然性を感じながら、相手に自分の思いを明確に伝えるために、意欲的に表現する生徒の育成 ～「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域の指導を通して～ |
| 脇 田 泰 教 | 向陽中 | 《特別支援》 基礎的・基本的な実験技能の定着を図るための工夫 ～理科の授業におけるガスバーナーの演習を通して～ |
| 多 知 雄 太 郎 | 共和中 | 《英語科》 学習意欲を高める学びの場の工夫 ～1学年・Unit6 コミュニケーション活動における中間反省のあり方～ |